

伊勢志摩サミット三重県民会議第2回役員会

事項書

日時：平成27年9月16日（水）

14:00～15:00

場所：ホテルグリーンパーク津 藤・萩の間

1. 開会

2. 議題

- (1) 県民会議会員の追加について
- (2) 伊勢志摩サミット三重県民会議 事業計画について
- (3) 平成27年度収支予算（修正案）について
 - ①支出：各事業に伴う経費予測
 - ②収入：寄附金状況
- (4) 広報全体計画について
- (5) その他

3. 閉会

【配布資料】

- ・資料1：県民会議会員の追加について
- ・資料2：伊勢志摩サミット三重県民会議 事業計画
- ・資料3-1：平成27年度収支予算表（修正案）
- ・資料3-2：協賛、応援、寄附の申込状況等について
- ・資料4：広報全体計画について
- ・参考資料1～16：県民会議各事業について

「伊勢志摩サミット三重県民会議」会員の追加について

平成 27 年 9 月 16 日
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

1 対応方針

6 月 26 日（金）に設立した「伊勢志摩サミット三重県民会議」の会員について、事業計画が具体化してきたことから、「伊勢志摩サミット三重県民会議規約第 4 条の規定に基づき、2 のとおり会員を追加する。

※参考 伊勢志摩サミット三重県民会議規約

第 4 条 県民会議の会員は、別表 1 のとおりとする。ただし、設立総会以降参加希望の申し出があったものについては、この限りでない。

2 前項ただし書きの申し出があった場合は、会長は、これを役員会に諮らなければならない。

2 基本的な考え方

○県民会議の設立時には、サミットを成功させるため、県全体の総力を結集し、幅広い分野から多くの関係者の協力を得るという基本方針のもと、会員は、原則、特定の企業ではなく、各分野を代表する関係団体、NPO 等、105 の団体で構成している。（電気・通信、交通・運輸関係では、例外あり）

3 会員として追加する候補（9 団体）

① 交通・運輸関係

○関係者の移動以外に、食糧・物資等の輸送サービスの円滑な提供を行う必要があるため、輸送関係の団体を加える。

一般社団法人三重県トラック協会

○各国首脳の要人等を迎える空の玄関口として、中部国際空港を利用することが想定されており、連携を強化する必要があるため、空港関連会社を加える。

中部国際空港株式会社

② 環境・市民関係

○サミットに関する情報を地元住民に丁寧に提供するとともに、サミットに向けた県民総参加の取組を進める必要があるため、市民関係団体を加える。

三重県自治会連合会

○国内外からの来訪者を、三重の花き花木で歓迎する「花いっぱいおもてなし運動」の取組を進める必要があるため、市民関係団体を加える。

花の国づくり三重県協議会

③ 警備関係

○サミット関連施設の保安対策について十分な準備体制を整える必要があるため、警備関係団体を加える。

三重県警備業協会

④ 医療・衛生関係

○国内外から多くの来県者を迎え、飲食、公衆浴場など公衆衛生に関して安全安心な「おもてなし」を行う必要があるため、公衆衛生関係団体を加える。

公益財団法人三重県生活衛生営業指導センター

⑤ 金融関係

○民間企業等に、伊勢志摩サミット関連事業への広い参画を呼びかけるにあたり、民間のもつノウハウやネットワーク等を活用する必要があるため、金融機関を加える。

株式会社百五銀行

株式会社三重銀行

株式会社第三銀行

3. 今後のスケジュール

10月13日(火) 第2回総会より出席予定

平成 27 年 9 月 16 日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

伊勢志摩サミット三重県民会議 事業計画（案）

1 「開催支援」に関すること

◆ 伊勢志摩サミット宿泊予約センターの設置（事業番号 1）

サミット開催時に集中的に来県する関係者に対し、宿泊先となるホテル等を安定的かつ効率的に確保し、宿泊に関するサービスを一元的に提供するとともに、宿泊施設に対するサミット関係者受け入れにあたってのサポートや三重県の観光振興に係る取組などを行う伊勢志摩サミット宿泊予約センターを設置する。

◆ 配偶者プログラムの提案（事業番号 2）

首脳会議が 1 泊 2 日で予定されていることから、その期間内での実施することを想定し、テーマ性やストーリー性を持たせた訪問先やコンテンツを総合的に検討し、三重県の魅力がプログラムに盛り込まれるよう、国への提案を行う。

◆ 県産食材等の利用促進に向けた取組（事業番号 6）

全県をあげて、質の高い県産食材等をリストアップし、サミットにおける国の公式プログラムやレセプション等のほか、プレスツアー等の行事の食事メニューにおいて採用されるよう、県産食材等の活用を国や関係ホテル等に対して積極的に提案する。

◆ 弁当供給体制の整備（事業番号 7）

伊勢志摩サミットの開催に際して、警備、消防、医療、現地スタッフ等に対し、安全・安心かつ美味しい食事を大量に継続して提供するための体制を整備し、関係者用の受注窓口を設置する。三重県産食材の使用も含めて検討を行う。

◆ インフォメーション機能の整備（事業番号 16）

世界各国からの来訪者をおもてなしの心でお迎えするため、外国語案内ボランティアを幅広く募集し、地元市町・団体等との協力により、空港や駅等における移動支援・観光案内等のインフォメーション機能を提供する。

◆ 輸送サービスの円滑な提供

関係者の円滑な移動のため、バス等の移動手段の運行に係る協力、支援を行う。

◆ 警備関係への協力や住民への情報提供

地元市町等と調整のうえ、住民懇話会を開催し、サミットに関する情報を、地元関係団体・住民に提供し、伊勢志摩サミット開催に対する理解促進と機運醸成、警備体制の理解を求め、住民が有する疑問や課題の解決を行う。

◆ 公式行事に伴う歓迎交流

空港等における歓迎行事や歓迎レセプションを国等と連携して実施し、来県する各国首脳等に、歓迎の意を表明する。

県民（特に子どもたち）が各国首脳と触れ合う機会をつくるため、交流行事を検討する。

◆ 伊勢志摩サミットの開催機運を盛り上げるためのレセプション開催

サミット関係大使館等を招き、サミットの開催機運を盛り上げるとともに三重の魅力を伝えるため、レセプションを開催する。

2 「おもてなし」に関すること

◆ 機運醸成に向けたサミットフォーラムの開催（事業番号5）

伊勢志摩サミットへの理解を深め、開催機運を醸成するため、「おもてなし」「明日へつなぐ」「三重の発信」などを県民とともに考えるサミットフォーラムを開催する。

◆ クリーンアップ活動・花いっぱいおもてなし運動の実施（事業番号8）

世界各国からの来訪者に対し、県民の歓迎の意を表現するとともに、一人でも多くの県民が来訪者歓迎に関わるため、全県的に環境美化・清掃活動、飾花運動を行う。キックオフイベントを行うことで県民参加による伊勢志摩サミット開催の機運醸成や参加意識の向上を目指す。

◆ カウントダウンボード、ノベルティを活用したPRの実施（事業番号11）

伊勢志摩サミットに向けて、協賛事業も活用しながら県内外の各地にカウントダウンボードを設置することで、伊勢志摩サミット開催の機運醸成を目指す

関係閣僚会合や三重テラス等PR効果の高い県外でのイベントや三重県で開催される全国大会等において、ポストカード等の各種PRツールを用いて幅広く周知を行う。

◆ おもてなし向上研修などの実施

世界各国からの訪問者に満足いただけるおもてなしを行うとともに、国際観光地としてレベルアップのため、外国人接遇研修の実施や、外国人接遇用のハンドブックの制作・配布を行う。

3 「明日へつなぐ」取組に関すること

◆ ジュニアサミットの開催（事業番号3）

三重の魅力の発信や明日へつながる交流を残すため、ジュニアサミットの県内開催を要望し、開催決定した際には、三重県の独自性を生かすとともに、県内高校生が参加者と交流できる機会を可能な限り設定したプランを国に提案する。

◆ 多様な主体における国際理解・国際交流事業の開催（事業番号15）

サミットの開催を契機として、サミット参加国について学ぶ機会を設け、学校や市町、民間企業・団体等、多様な主体が、国際理解・国際交流を深める機会を提供する。特に次代を担う子どもたちが多文化を理解し、国際的な視野や感覚を身に付けるきっかけとすることで、明日を担う世代の育成を目指す。

4 「三重の発信」に関すること

◆ シンボルマークの制定（事業番号4）

県民会議や県民会議の活動に賛同する多くの県民が自由に使用できる県民会議としてのシンボルマークを独自に作成し、広報活動に活用することで伊勢志摩サミット開催の機運醸成を行う。シンボルマーク作成にあたっては、北勢きらら学園在校時の作品が2008年の北海道洞爺湖サミットのロゴマーク公募で最優秀作として採用された近藤氏に依頼し、北海道洞爺湖サミットの経験を伊勢志摩サミットの成功と三重県の明日へつないでいく、また、多様な主体に参画いただくことを、県民会議からの強いメッセージとして発信する。

◆ ロゴマーク募集事業への協力依頼

伊勢志摩サミット開催の機運醸成のため、県内学校等に向けて国のロゴマーク募集事業への積極的な協力を依頼する。

◆ ホームページ、SNSでの発信（事業番号9）

ホームページ、Facebook、Twitterを活用し、県民会議の取組、三重の魅力やサミットに向けた情報を効果的に幅広く発信する。

◆ ポスター、リーフレット、チラシ等によるPRの実施（事業番号10）

伊勢志摩サミット開催の機運醸成と県民意識の醸成を表現するため、「起・承・転・結」の構成とする「伊勢志摩サミット2016」ポスターを第5弾まで作成、多くの人々に伊勢志摩サミットの三重県開催のPRを実施する。

◆ プレス等を活用した情報発信（事業番号12）

国内外のメディアに三重県を取材する機会を提供し、三重県ならではの体験や三重県の多彩なコンテンツを体感いただき、三重県の魅力を国内外へ発信することで、三重県の認知度を高め、ブランドイメージの確立・浸透を図るため、プレスツアー等を実施するだけでなく、プレスツアーへの参加を呼び掛けるイベントを開催する。

◆ 三重県情報館（仮称）の設置（事業番号13）

国際メディアセンター内に、国内外から来県する多数の報道関係者等を通じて、三重県の魅力を国内外に発信するための拠点として三重県情報館（仮称）を設置し、日本の中の「地方」の代表として三重県の魅力を課題も含め発信する。

◆ 三重テラス、関西事務所など県外でのイベント等の展開

伊勢志摩サミット開催及び開催地である三重県の全国的な発信のため、三重テラス等にて、2016年伊勢志摩サミット開催決定記念イベント等を展開する。

◆ 海外ミッションの機会等を利用したPRの実施

三重県での伊勢志摩サミット開催をアピールするとともに、三重県の知名度向上を図るため、県が主催する海外ミッションにおいて伊勢志摩サミットに関するPRを実施する。

伊勢志摩サミット三重県民会議 平成27年度収支予算（修正案）

1 収入の部

（単位：千円）

科 目	本年度予算額	摘 要
負担金	(100,000) 302,748	県負担金、市町負担金 寄附金等
諸収入	0	その他
合計	(100,000) 302,748	

2 支出の部

（単位：千円）

科 目	本年度予算額	摘 要
事業費	(87,000) 233,990	開催支援、事業推進経費
事務局費	(13,000) 68,758	事務局運営経費、予備費
合計	(100,000) 302,748	

伊勢志摩サミット三重県民会議 平成27年度収支予算(修正案) 内訳
収入

(単位:千円)

科目	項目	主な内容	予算額
負担金	県負担金		(87,000)
			139,748
	寄附金分		(0)
			150,000
市町負担金		志摩市 6,000	13,000
		伊勢市 3,000	
		鳥羽市 3,000	
		南伊勢町 1,000	
諸収入	その他		0
合計			(100,000) 302,748

※県負担金については、県予算が決定していないため、修正となる場合があります

支出

(単位:千円)

科目	項目	主な取組	予算額
事業費	開催支援	宿泊予約センターの設置、輸送サービスの円滑な提供 配偶者プログラムの提案 弁当供給センターの設置 インフォメーション機能の整備 警備関係への協力や住民への情報提供 開催機運を盛り上げるためのレセプション開催など	
		計	(3,400) 22,150
	おもてなし	機運醸成に向けたサミットフォーラムの開催 クリーンアップ活動・花いっぱいおもてなし運動の実施 おもてなし向上研修などの実施	
		計	(7,000) 38,403
	明日へつなぐ	ジュニアサミットの開催 多様な主体における国際理解・国際交流事業の開催	
		計	(28,000) 13,380
	三重の発信	シンボルマークの制定、ロゴマーク募集事業への協力依頼 ホームページ、SNSでの発信 ポスター、リーフレット、チラシ等によるPRの実施 プレス等を活用した情報発信 三重県情報館(仮称)の設置 三重テラス、関西事務所など県外でのイベント等の展開 海外ミッションの機会等を利用したPRの実施など	
		計	(48,600) 160,057
事務局費	県民会議開催費	総会、役員会、部会の開催	(2,000) 2,300
	事務局運営費	一般事務局費等	(11,000) 19,740
	予備費		(0) 46,718
		計	(13,000) 68,758
合計			(100,000) 302,748

協賛、応援、寄附の申込状況等について

平成 27 年 9 月 16 日

8 月 31 日より開始した、協賛、応援、寄附の募集にかかる 9 月 14 日時点での申込状況は、下記のとおりです。

協賛	応援	寄附	
4 件 うち登録 1 件	24 件 うち登録 15 件	24 件 83,566,538 円	
		法人	個人
		9 件 82,360,000 円	15 件 1,206,538 円

協賛、応援の事業提案内容は、次ページのとおりです。

協賛、応援申込状況

H27.9.14 時点

伊勢志摩サミットにかかる協賛、応援について、現時点での申込状況は、下記のとおりです。

- 〔備考〕・前回報告時からの更新箇所は網掛け表示にしています。
 ・登録欄の「済」は登録済のもの、「未」は審査中のものです。
 ・公表欄の「○」は内容の公表に同意があるもの、「×」は公表を希望しないものです。

【協賛】

申請件数	4
うち登録件数	1

申込者一覧

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
1	H27.8.28	三重トヨタ自動車株式会社	クリーンアップ運動へのごみ袋等提供他	済	○
2	—	—	—	未	—
3	—	—	—	未	—
4	—	—	—	未	—
5					
6					
7					
8					
9					
10					

【応援】

申請件数	24
うち登録件数	15

申込者一覧

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
1	H27.8.28	株式会社百五銀行	百五観光アカデミー開催	済	○
2	H27.8.28	堀口文宏の志摩っていいぞ運営委員会	志摩の魅力を動画番組、SNS等で配信	済	○
3	H27.8.28	三重の大酒蔵市実行委員会	県内の酒蔵と四日市市飲食店のコラボイベント	済	○
4	H27.9.1	村林浩代ソプラノリサイタル実行委員会	リサイタルの売上の一部を県民会議へ寄附	済	○
5	H27.9.2	JAグループ三重 JA事業サポートセンター	「伊勢志摩サミット2016」ポスターの店頭掲示	済	○
6	H27.9.2	「名港水上芸術花火2015」開催委員会	名古屋港ガーデンふ頭でサミット記念花火大会	済	○
7	H27.9.2	イオンリテール株式会社	県内店舗で伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
8	H27.9.2	マックスバリュ中部株式会社	県内店舗で伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
9	H27.9.2	イオンリテール株式会社	関西圏店舗で「三重県フェア」開催	済	○
10	H27.9.2	三重信用金庫	「伊勢志摩サミット記念定期」を販売し利息の一部を寄附	済	○
11	H27.9.3	麒麟ビールマーケティング株式会社	記念デザイン肩ラベル品販売、売上1本につき1円を寄附	済	○
12	H27.9.3	三重県漁業協同組合連合会	伊勢志摩サミット開催PRのための看板設置	済	○
13	H27.9.4	一般社団法人三重県食品衛生協会	サミット成功に向け食中毒を発生させないセミナー開催	済	○
14	—	—	—	未	—
15	—	—	—	未	—
16	—	—	—	未	—
17	H27.9.4	全国詩曲音楽連盟	サミットの記念曲(イメージソング)の制作	済	○
18	—	—	—	未	—
19	—	—	—	済	×
20	—	—	—	未	—
21	—	—	—	未	—
22	—	—	—	未	—
23	—	—	—	未	—
24	—	—	—	未	—
25					
26					
27					
28					
29					
30					

平成 27 年 9 月 16 日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

広報全体計画について

1 基本的な考え方

- ◆本日現在、サミット開催まで 253 日。この残された 253 日間全体の広報計画を、以下の考え方で展開したい。
- ①県内外の一般およびプレス関係者など全てのステイクホルダーにとって分かりやすい、開催までの節目日（200 日前、100 日前等）を展開軸とする。
- ②節目日を含む概ね 1 週間を、「〇〇日前ウィーク」と設定。県および県民会議の自主事業や市町連携事業さらには応援事業等の広報要素を、「〇〇日前ウィーク」の中に束ねる計画としていく。
- ③およそ 50 日間隔の「広報・発信のリズム」「広報のヤマ場」を創ることに より、広報のテーマ浸透や県民参加などの各種活動を活発・推進させたい。
- ④上記に合わせて、各部局および県内企業の独自事業についても、各節目期での開催を呼びかける。

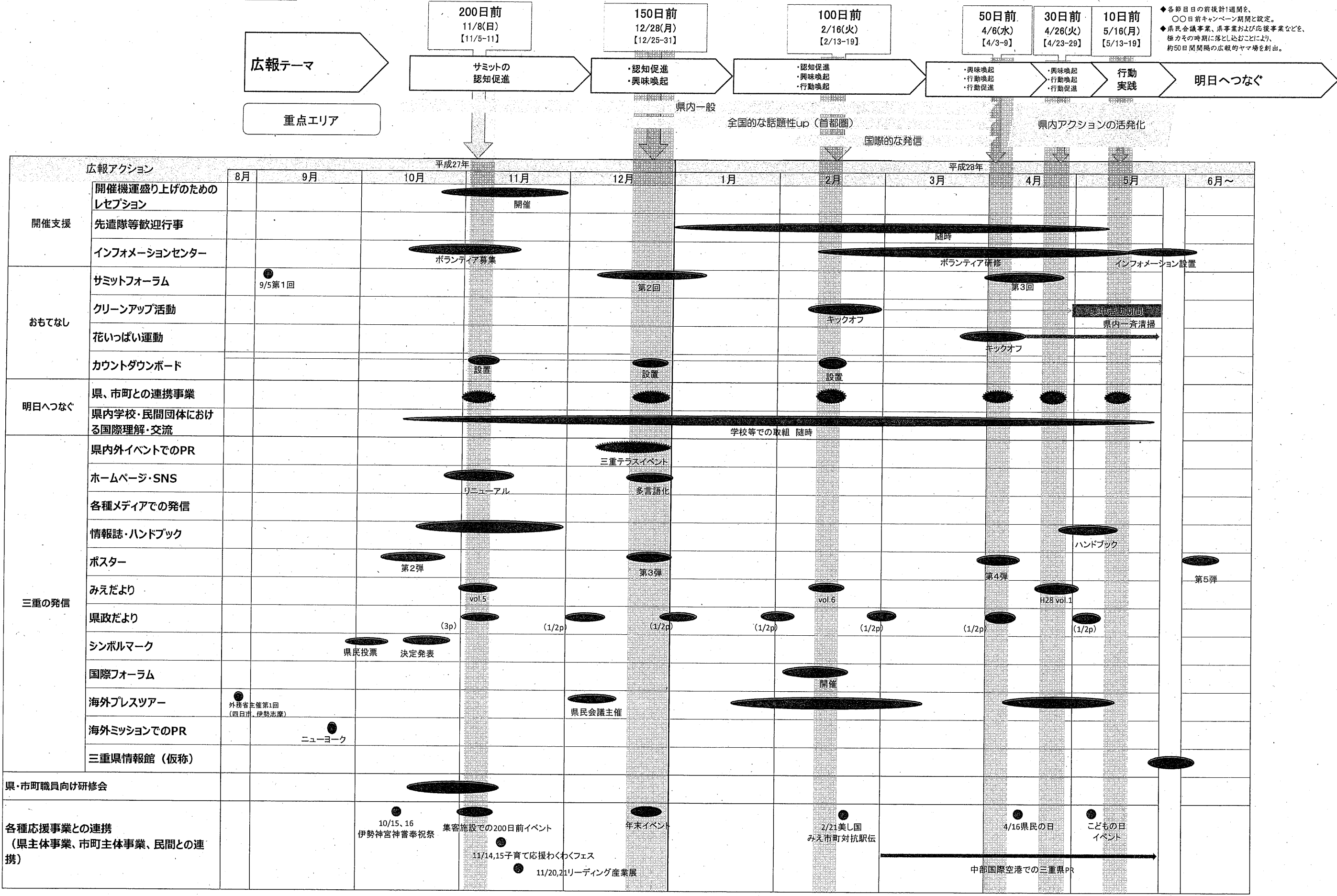
2 各節目時期の主な活動（※調整中の案件を含む）

- ◆200 日前（2015 年 11 月 8 日（日））＜200 日前ウィーク；11 月 5～11 日＞
 - ・（協賛事業ほか）カウントダウンボード一斉設置（3 県 1 市も検討）
 - ・（応援事業）新聞・TV 等でのカウントダウンスタート
 - ・（応援事業）県内集客施設での 200 日前イベント
- ◆150 日前（12 月 28 日（月））＜150 日前ウィーク；12 月 25～31 日＞
 - ・第 2 回サミットフォーラム
 - ・三重テラスでのイベント
 - ・公募デザインによる第 3 弾ポスター（おもてなしの心）掲出開始
 - ・その他県内年末イベントとの連携
- ◆100 日前（2016 年 2 月 16 日（水））＜100 日前ウィーク；2 月 13～19 日＞
 - ・国際フォーラムの開催
 - ・「美し国みえ市町対抗駅伝」での PR（2 月 21 日（日）、津～伊勢）
 - ・クリーンアップ活動キックオフイベント（3 県 1 市も検討）
- ◆50 日前（2016 年 4 月 6 日（火））＜50 日前ウィーク；4 月 3～9 日＞
 - ・第 3 回サミットフォーラム
 - ・4 月 16 日「県民の日」イベント
 - ・公募デザインによる第 4 弾ポスター掲出開始
 - ・花いっぱい運動飾花キックオフイベント
- ◆30 日前（2016 年 4 月 26 日（火））＜30 日前ウィーク；4 月 23～29 日＞
 - ・こどもの日イベント
- ◆10 日前（2016 年 5 月 16 日（月））＜10 日前ウィーク；5 月 13～19 日＞
 - ・県内一斉清掃活動

伊勢志摩サミット開催に向けた広報全体計画

20150916

資料4別表



平成27年9月16日
開催支援課

伊勢志摩サミット宿泊予約センターについて

1 目的

サミット開催時に集中的に来県する関係者の宿泊先を、安定的かつ効率的に確保・提供するとともに、宿泊者及び宿泊施設に対する適切なサポートや三重県の観光振興につながる取組を行う。

2 取組内容

(1) センターの役割

伊勢志摩サミット三重県民会議が公認する宿泊予約センターとして、サミット開催時に集中的に来県する関係者に対し、宿泊先となるホテル等を安定的かつ効率的に確保し、宿泊希望者への円滑かつ適切な申込み、配宿、精算、情報提供などのサービスを一元的に提供するとともに、宿泊施設に対するサミット関係者受け入れにあたってのサポートや三重県の観光振興に係る取組などを行います。

(2) 宿泊予約取扱対象者

各国代表団、日本政府関係者、警備関係者、消防関係者、医療関係者、報道関係者等

(3) センター概要

- ①開設日 平成27年8月24日（月）
- ②運営事業者 伊勢志摩サミットに係る宿泊手配等業務コンソーシアム
※株式会社JTB中部（代表）、近畿日本ツーリスト株式会社、
株式会社日本旅行の3社による共同事業体
- ③住 所 三重県津市北丸之内12番地 株式会社JTB中部津支店内
※10月1日に新事務所に移転予定
- ④電話番号 059-228-8455
- ⑤営業時間 平日9時30分から17時30分まで（土日祝は休業）

(4) 宿泊施設向け説明会

宿泊予約センターにおける配宿業務への理解と協力を求めるため、宿泊施設向け説明会を8月31日から9月7日にかけて、伊勢市、志摩市、鳥羽市、津市において計10回開催しました。

3 今後のスケジュール

- ・10月～ 宿泊希望者向け問い合わせ対応窓口の立ち上げ
- ・12月～ Web上での予約受付システムの立ち上げ

平成27年9月16日

開催支援課

配偶者プログラムについて

1 目的

国に対し配偶者プログラムの訪問先や体験内容等についての提案を行うことで、美しい自然や豊かな文化・伝統などの三重の魅力をプログラムに盛り込み、三重の魅力を世界に向けて発信していく。

2 取組方針

- (1) 国が行う配偶者プログラムに、三重県としての提案を盛り込んでもらう。
- (2) 首脳会議が1泊2日で予定されており、配偶者プログラムもその期間内での実施となる（想定：5月26日午後、27日午前）。ただし、日程を勘案するとそれぞれ半日程度の行程となり、賢島から遠距離への訪問はできない。

3 提案に向けてのスケジュール

テーマ性やストーリー性を持たせた訪問先やコンテンツを総合的に検討のうえ、県としての案を決定し、国への提案を行っていく

- (1) 配偶者プログラム提案書の作成
29市町のコンテンツ提案も勘案し、プログラム提案書を作成する。
- (2) 国への提案
国に対し提案。

4 提案後の進め方

国が配偶者プログラムの訪問先等を決定した後は、県民会議の担当となる行程について、県民会議としてコンテンツを具体的に検討し実施する。

平成 27 年 9 月 16 日

事業推進課

ジュニアサミットについて

1 目的

ジュニアサミット参加者が三重県の魅力に触れるとともに、三重県の子ども達に交流機会を提供します。

2 現状

ジュニアサミットは、国が主催するサミットの関連行事であり、開催について現時点では未定です。

8月5日、鈴木知事から、中山泰秀外務副大臣に要望書を渡し、伊勢志摩サミットにあわせ、本県でのジュニアサミット開催を強く要望しました。要望書の主な内容は、以下のとおりです。

- (1) 参加者が、三重県の持つ、日本の原風景ともいえる美しい自然、豊かな伝統・文化など、日本の魅力そのものに触れていただける絶好の機会であること
- (2) 2008年のJ8サミット千歳支笏湖と同様に、ジュニアサミット開催の成果を未来に生かしていきたいこと
- (3) 県内の複数自治体から会場受入の意向があり、県・市町一体となって開催に臨む機運が高まっていること
- (4) 本県で開催決定の折には、三重県ならではの討議テーマの提案や討議に資する現地視察、県内分散型の体験・交流等についての提案、協議を行いたいこと

また、会場受入意向のある6市（四日市市、桑名市、鈴鹿市、名張市、亀山市、熊野市）について照会を行いました。

3 取組方針

- (1) 県民会議として開催企画案を策定し、外務省へ提案します。
- (2) 開催企画案には、三重県の独自性ある提案を盛り込みます。
 - ①これまでの事例のような、討議日程終了後の視察プランだけでなく、討議前にテーマに関連する県内施設などを視察するとともに、県内高校生と意見交換などの交流を行うプラン
 - ②参加者が分散して県内各地で体験・交流を行うプランを盛り込んで行きます。
- (3) 開催日程を通して、県内高校生等が参加者と交流できる機会を可能な限り設けられるよう、外務省と協議します。

【開催日程案のイメージ】（9日間）

- 1日目 ジュニアサミット参加者 三重県へ到着
- 2日目 開会式及び歓迎行事・視察等（開催地域周辺）
- 3日目 討議テーマに関連した視察・県内高校生等との交流
- 4～6日目 集中討議（夜は地元自治体を中心に歓迎・交流行事を予定）
- 7日目 三重県体験・交流行事
<県内各地に分散し自然・文化・歴史体験と地域交流>
- 8日目 首相への成果文書提出
- 9日目 閉会式、帰国

※下線部が県民会議事業

平成 27 年 9 月 16 日
事業推進課

シンボルマークの作成について

1 目的

国によるロゴマークの決定は平成 28 年 1 月以降と見込まれています。

国の決定に先んじて、県民会議や県民会議の活動に賛同する多くの県民ができるだけ早期に、かつ自由に使用できる県民会議としてのシンボルマークを独自に作成し、広報活動に活用することで開催気運の醸成をはかります。

また、選定の考え方自体を県民会議の活動方針の象徴とし、県内外に強いメッセージを伝えていきます。

2 作成方法等

(1) 作成方針

シンボルマーク作成のプロセス自体に県民会議からのメッセージを含め、県内外に発信していきたいと考えています。

① 近藤敦也氏に作成を依頼

近藤氏は北勢きらら学園在校時の作品が平成 20 年の北海道洞爺湖サミットのロゴマーク公募で最優秀作として採用され、その後、筋ジストロフィーという難病を抱えながらも、夢であったグラフィックデザインの仕事に従事され、現在に至るまで継続的にデザインに関わっておられます。

今回、同氏にシンボルマークを作成いただくことで、北海道洞爺湖サミットの経験を伊勢志摩サミットの成功と三重県の明日へつないでいく、また、多様な主体に参画いただくことを、県民会議からの強いメッセージとして発信します。

② シンボルマークの県民投票

県民会議の基本的な考え方である「さまざまな県民が準備段階から事業の企画に携わり、実施して、サミットに参画する」ということを実現するため、近藤氏に作成いただくシンボルマーク数案を、県民投票へかける機会を設けていきます。

※ 近藤氏とシンボルマーク作成スケジュール調整中につき、実施可否は今後の調整となります。

(2) 契約方法

シンボルマークの作成に係る業務委託契約を締結し、作成します。

委託先 : 特定非営利活動法人 ユーネットみらい

※ 近藤敦也氏に作成を依頼するものであるが、所属の NPO 法人に業務をサポート頂くため、当該法人と契

約

※ NPO 法人ユーネットみらいについて

2008 年から特別支援学校の卒業生、保護者、教職員、民間事業者により、チラシ、ホームページ作成等の活動を開始。2012 年に関係職員の人事異動に左右されない組織の独立性と、広範な組織と連携して活動を展開するため、NPO 法人ユーネットみらいを設立。

契約内容 : シンボルマーク、マーク使用規程、共通デザイン、ポスター及び名刺台紙デザインの作成

契約金額、履行期間等は現在調整中。

3 スケジュール

(1) 8 月 19 日 : シンボルマークの作成と発表時期に関する発表

(2) 8 月 21 日 : 知事から近藤氏へのマーク作成依頼
15 時 40 分 場所：北勢きらら学園
～ 近藤氏へ知事からシンボルマーク作成を依頼する場
16 時 10 分 面を設定し、プレス取材を通して情報発信。

(3) 9 月 28 日～ : 近藤氏作成のマーク候補案（数点）を県民投票（予定）
10 月 2 日 複数候補（2～3 点）の中から県民投票を実施し、マーク作成の過程に県民の皆さんが参加できる仕組みを設けるとともに、注目度を向上。

※ 近藤さん側でマーク作成スケジュールを検討中であり、実施可否は今後調整。

※ 県民投票は電子申請システムを利用する予定。

(4) 10 月中旬 : 第 2 回県民会議総会にて発表

4 作成後の展開

(1) 県民会議としての展開

バッジ、名刺、広報用資料、ポスター、封筒、懸垂幕等幅広く展開します。

(2) 協賛事業としての展開

県内外の企業・団体・個人による応援事業の枠組みを活用してシンボルマークを活用頂くことで、広く展開します。

第1回伊勢志摩サミットフォーラムの開催結果について

- 1 日時 平成27年9月5日(土) 14:00~16:15 (開場 13:00)
- 2 場所 志摩市磯部生涯学習センター 多目的ホール
- 3 内容
 - (1) 挨拶 鈴木三重県知事、大口志摩市長
ビデオメッセージ 安倍内閣総理大臣
 - (2) 講演「伊勢志摩サミットに期待すること」
講師 滝崎成樹氏(外務省大臣官房伊勢志摩サミット準備事務局長)
概要 サミットの概要や、三重県の情報発信・県民活動に対する期待についてご講演いただきました。国際メディアセンター及び三重県情報館(仮称)を活用して三重県を情報発信したり、ジュニアサミットの開催が決定すれば、小中高生が世界に目を向ける絶好の機会となるなどのお話をいただきました。
 - (3) トークセッション
スピーカー 山谷吉宏氏(北海道副知事)
ロビン・ハーディング氏(フィナンシャルタイムズ東京支局長)
江崎貴久氏(海島遊民くらぶ代表)
鈴木三重県知事
概要 3つのテーマ(サミット開催地から学ぶ、伊勢志摩の魅力とその発信、県民総参加への取組)に沿って、北海道洞爺湖サミットにおける住民参加の事例や、記者の目から見て一目で日本・三重県とわかる写真の重要性など、貴重な発言や提言をいただきました。
- 4 参加者
376名
うち一般参加者300名(満員)
うち報道・来賓・関係者等76名
- 5 アンケート結果
 - (1) 一般参加者300名中、160名から回答(回答率53.3%)
 - (2) 伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町からの参加者
51.0%
 - (3) フォーラムの内容について
「大変良かった」、「良かった」…99.3%
 - (4) 「伊勢志摩サミット」への関心や、おもてなしへの参加意欲が深まったか、おもてなしへの参加のきっかけになったかについて
「大変そう思う」、「そう思う」…95.8%
 - (5) その他、主な意見
 - ・経験者や専門家からの話やアドバイスは非常に参考になった
 - ・具体的な話なので非常にわかりやすく、不安が少し解消された
 - ・どのように参画していくのかを考えさせられた など
- 6 今後に向けて
サミット開催までに、2回のフォーラム開催を予定しています。

平成 27 年 9 月 16 日

開催支援課

県産食材等の利用促進に向けた取組について

1 目的

伊勢志摩サミット開催を契機とし、質の高い県産食材等のPRを行うことで、需要拡大及び販売促進につなげていく。

2 基本的な考え方

全県をあげて、質の高い県産食材等をリストアップし、サミットにおける国の公式プログラムやレセプション等のほか、プレスツアー等の行事の食事メニューにおいて採用されるよう、県産食材等の活用を国や関係ホテル等に対して積極的に提案していく。

3 今後の進め方

- ・食 材：各市町から提出された推薦食材を集約してリストを作成し、事業推進部会の承認を得てリストを確定する。
 - ・加工品：県内に主たる事業所がある事業者が製造又は加工した食品や、江戸時代以前から県内で製造・販売されている餅菓子について公募中。公募後は、みえセレクション選定品を含めて、審査会を経てリストを確定する。
 - ・日本酒：日本酒についてもあわせて国に提案すべく準備を進めている。
- ※上記食材等については、10月に国に提案予定。

平成 27 年 9 月 16 日

開催支援課

弁当供給体制の整備について

1 目的

伊勢志摩サミットの開催に際して、警備、消防、医療、現地スタッフ等に対し、安全・安心かつ美味しい食事を大量に継続して提供するための体制を整備し、関係者用の受注窓口を設置する。

2 取組内容

(1) 業務内容

- ・弁当の受注、製造、配送及び空容器の回収
- ・県産食材の活用及び P R

(2) 取扱対象者

警備関係者、消防関係者、医療関係者、現地スタッフ等を想定

3 取組方針

(1) 事業者の選定

企画提案コンペを実施し、事業者を選定する。

(2) 事業者の選定方針

- ・弁当の製造・配送能力
大量の食事を継続して供給できる体制を整える。
- ・食品衛生対策
食中毒の防止など、安全で安心な食事の供給体制を整える。
- ・環境への配慮
ゴミの減量化や CO₂ の削減に努めるなど、環境への負荷を小さくする。
- ・県産食材の活用
県産食材の活用、地域に根差したメニューの採用など、本県の魅力の発信につなげる。

4 今後のスケジュール

平成 27 年 10 月

企画提案コンペの公告、事業者の選定

12 月～1 月

弁当受注窓口の設置

平成 27 年 9 月 16 日
事業推進課

クリーンアップ活動（環境美化・清掃活動）について

1 目的

サミット開催にあたっては、各国関係者はもとより、多くの報道関係者等が訪れると予想されます。これらの来訪者により快適な滞在環境を提供し、県民の歓迎の意を表現するとともに、一人でも多くの県民が来訪者歓迎に関わり、機運醸成や参加意識の向上をめざします。

2 事業の概要

県民会議や県、市町及び各団体・企業等の多様な取組を生かしながら、県民が一体となって、開催地周辺のみならず、全県的にクリーンアップ活動を、協賛、応援事業の枠組も活用して展開します。

3 取組方針

- (1) 市町や自治会、関係団体・企業の実施しているクリーンアップ活動等を生かし、全県的な取組として展開します。
- (2) 県民参加の機運醸成のため、キックオフイベント等を実施することで一体感と発信力を高めていきます。

4 今後の進め方

(1) 関係者の協力体制

県民会議の体制や市町へ市町連絡調整会議等を活用し、自治会等の各種地域団体も含めた協力体制を構築していきます。

(2) 協賛、応援事業の活用

協賛、応援事業の枠組を活用し、クリーンアップ活動や物品等の提供により、企業・団体の協力を集結していきます。

例：企業や団体によるクリーンアップ運動の協賛、応援事業の登録
各種スポーツ大会や地域のイベント・祭等での 10 分間クリーンアップの呼び掛け

クリーンアップ活動への物品等の協賛 等

(3) キックオフイベントの展開

市町や関係団体等、一人でも多くの県民がクリーンアップ活動を行う日をキックオフイベント設定し、機運の醸成や一体感の構築をはかっていきます。

なお、記念品等には協賛・応援事業や寄附金等も活用し、県民の力をあわせた活動となるよう取り組んでいきます。

平成 27 年 9 月 16 日
事業推進課

花いっぱいおもてなし運動について

1 目的

伊勢志摩サミットの開催にあたり、三重県を訪れる方々を、おもてなしの心と美しい花々で歓迎するため、「花いっぱいおもてなし運動」の取組を実施します。

2 事業概要

「花いっぱいおもてなし運動」は、三重県を訪れる方々を県産の花き花木でおもてなしをする取組であり、サミット開催地の伊勢志摩地域を中心に、全県的に展開します。また、この機会を利用して、三重県産の花き花木をPRし、魅力を発信します。

3 取組方針

- (1) 三重県産の花き花木を積極的に使用し、広く産地の情報を発信します。
- (2) 一人でも多くの県民の方々に参加していただけるよう、市町や関係団体等と協力しながら、全県的な取組として展開します。
- (3) サミット本番前にキックオフセレモニーを開催し、サミットの成功と歓迎機運の醸成及び県民参加意識の向上を図ります。

4 今後の進め方

(1) 全県的な取組

①市町村庁舎における飾花

各市町の庁舎内に県産花き花木を飾り、庁舎を訪れる地元住民の方々にサミット開催が近づいていることを実感していただきます。

②各市町でのプランター設置

各市町に花苗、プランター、培養土等の必要資材を配布し、各自治体内に設置します。

※各市町独自で実施されている花いっぱい運動と連携して事業展開を行います。

(2) 協賛事業・応援事業の活用

企業や団体に事業への登録を行っていただき、物品提供や花の飾り付け等でご協力いただきます。

例) サミット開催の影響で注目される場所、人が集まりやすい場所での飾り付け
→宿泊施設、商業施設、電車駅構内、高速道路SA・PA、フェリー乗場等

(3) キックオフイベントの開催

サミット本番前に、県内一斉に花の飾り付けを行うキックオフイベントを開催し、歓迎機運や参加意識の向上を図ります。また、物品や記念品等は協賛事業・応援事業、寄付金等を活用し、より多くの県民に参加していただけるよう取り組んでいきます。

三重県の花きカレンダー

○:出荷/鑑賞時期 ●:鑑賞時期

鉢花

品目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
シクラメン	●	●	●								○	○
ハイドランジア				○	○	●	●					
セントポーリア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ポインセチア	●										●	●
サイネリア	●	●	●	●						○		○
プリムラ・ポリアンサ	●	●	●	●							○	○
プリムラ・マラコイデス	●	●										○
プリムラ・ジュリアン	●	●	●	●							○	○
ジャクナゲ	○	○	●	●	●				○	○	○	○
ニューギニア				○	○	●	●	●	●	●	●	
インパチェンス					●	●	●					
カンパニュラ				○	●	●	●					
ヘリクリサム		○	●	●								
クロサンドラ					○	●	●	●	●	●	●	
サルズベリ									○	●	●	
ブーゲンビレア						○	○	●	●	●		
ミニバラ		●	●	●	●	●			●	●		
ペラルゴニウム				○	●	●						

洋らん

品目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
シンビジウム	●	●	●	●							○	○
コショウラン	●	●	●	●						○	○	○
デンドロビウム			○	○	●	●						
アングロカステ		○	○	○	○	○	○					
パフィオペディラム	●	●	●								○	○

観葉植物

品目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ヘデラ						周	年					
ポトス						周	年					
アンズリウム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
スパティフィラム	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●
グズマニア						周	年					
ディジゴセカ						周	年					
パーセノシッサス						周	年					
フミラ						周	年					
オフィオポゴン						周	年					
モンステラ						周	年					
カラジウム				○	○	●	●	●				
ソレイロリア						周	年					
ツデーシダ						周	年					
トラデスカンティア	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●
ディフェンバキア	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●
シェフレラ	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○
ドラセナ類	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
エクメア				○	○	○	○	●	●	●	●	●
フィロデンドロン	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●
エアプランツ						周	年					

花苗

品目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ガーデンシクラメン	●	●	●	●	●					○	○	○
パンジー	○	○	○	○	○	●	●			○	○	○
ビオラ	○	○	○	○	○	●	●			○	○	○
ハナショウブ					○	●	●					
ゼラニウム	○	○	○	○	●	●	●	●	●			
ハボタン	●	●	●									○
エボルブルス					○	●	●	●	●	●	●	
ニチニチソウ				○	●	●	●	●	●	●	●	
キンギョソウ	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サルビア				○	○	○	●	●	●	●	●	○
マリーゴールド			○	○	○	●	●	●	●	●	●	
ポーチュラカ					○	○	○	○	○	○	○	
ペチュニア			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
バーベナ				○	○	○	○	○	○	○	○	
ペゴニア					○	○	○	○	○	○	○	
トレニア				○	○	○	○	○	○	○	○	
ヨリウス						○	○	○	○	○	○	

切り花

品目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
バラ						周	年					
キク						周	年					
トルコギキョウ	○	○	○	○	○	○	○	○				○
ガーベラ						周	年					
ストック	○	○	○	○	○						○	○
スイートピー	○	○	○	○	○						○	○
カーネーション	○	○	○	○	○	○				○	○	○
グラジオラス						○	○	○	○			

ホームページ・SNSのリニューアル及び運営について

1 目的

現存ホームページ（以下、HP）をリニューアルすることにより、県民会議の取り組む事業、住民に影響を与える事象に関する情報、国内外から来県される方のための情報（宿泊予約案内、アクセス 等）をタイムリーにわかりやすく発信します。

また、既に運用している SNS（Facebook ページ及び Twitter）についても、HP の運営・管理と併せて運用を事業者へ委託することで、より効果的な情報発信や炎上対策等のセキュリティ強化をはかります。

2 事業の概要

HP や SNS を活用することで、県民会議の取組や三重の魅力を幅広く発信していきます。

なお、HP のリニューアル及び HP ・ SNS の維持管理運営については、バナー広告等で賄うことを前提に、受託事業者は業務に係る経費をすべて負担することを条件に、当該 HP における広告収入を経費に充当できる仕組みとしていきます。

3 取組方針

(1) HP

「国内在住の方」及び「海外からサミット取材に訪れるプレス」を対象に発信していくため、当該 HP は日・英の 2 カ国語対応を基本とします。

- ・ 国内向けには、県民会議の取組、協賛・連携・寄附事業の周知と依頼、各種規制情報、宿泊予約案内、三重県概要等を発信
- ・ 海外プレス向けには、三重県での滞在に関する情報（病院・警察、両替可能場所、宿泊予約案内等）、県民会議の一部の取組等を発信

※コンテンツにあわせ、一部は多言語化を予定

(2) SNS

県内でサミットに関心のある方、サミットを契機に地元を盛り上げる意欲のある方や、県外でサミットに関心のある方、三重にゆかりや関心のある方をファンとして取り込むような発信をします。

4 今後の進め方

9 月中に企画提案コンペを実施し、11 月中をめどにリニューアルする予定です。

平成27年9月16日
事業推進課

伊勢志摩サミット公式ポスター第2弾以降の制作について

1 目的

三重県で開催される主要国首脳会議の成功に向け、多くの方に伊勢志摩サミットをPRするため第1弾ポスターを制作したが、第2弾から第5弾までのポスターを作成することで、サミット開催への期待感と「おもてなし」「明日へつなぐ」「三重の発信」への県民の意識の醸成を図ることを目的とする。

2 ポスターシリーズの基本構成

開催機運と県民意識の醸成を表現するため、「起・承・転・結」の構成とする。

ポスターデザインは、第2弾から第4弾ポスターの掲出時期が半年と短いことから、複数点数では県民会議のポスターとして認知効果が薄まることが懸念されるため、各弾一種類とする。

(1) 【第1弾・7月～掲出】※掲出済

起：サミットが伊勢志摩で開催されることをPRし、期待感を醸成

- ・サミット予定地の賢島とリアス式海岸の写真を活用し、伊勢志摩サミット2016（開催決定）を県内外へ発信
- ・豊かな自然と美しいリアス式海岸を映しだす写真で伊勢志摩をPR

(2) 【第2弾・10月～掲出】

承：県民会議の象徴となるシンボルマーク決定告知

- ・シンボルマーク作成者へポスターデザインも同時に作成依頼
- ・第2回県民会議総会でシンボルマークと同時に発表（10月中旬）
- ・シンボルマークと作成に込めた思いを広く県内外へ発信

(3) 【第3弾・12月～掲出】及び【第4弾・3月～掲出】

転：県民参加のポスター公募

- ・第3弾、第4弾のポスターデザインを県民から公募する。
- ・テーマを「おもてなしの心」として、「おもてなし」や「歓迎」という伝わりにくいテーマをポスター表現することで県民の意識啓発を目指す。
- ・デザインは県民会議会長及び県民会議事務局で決定
- ・ポスターの印刷や配布は、企業等の協賛で実施

サミット終了後・・・

(4) 【第5弾・5月28日～掲出】

結：サミット終了が新たなスタート

- ・明日へつなぐをテーマに、アフターサミットへ向けてメッセージを記載
- ・サミット開催までに実施してきた県民参加事業を写真を中心に構成

平成27年9月16日
事業推進課

カウントダウンボード、ノベルティを活用したPR展開

1 目的

伊勢志摩サミットに向けて、協賛事業も活用しながら県内外の各地にカウントダウンボードを設置することで、歓迎機運の盛り上げを図っていきます。また、PR効果の高い県外でのイベント等も含め、三重県で開催される全国大会等において伊勢志摩サミットの開催を幅広く周知するため、各種PRツールを作成します。

2 取組方針

(1) カウントダウンボードの県内・県外の複数設置

カウントダウンボードについては、民間企業・団体に協賛、応援事業としてご協力いただき県内だけでなく東京、名古屋、大阪など県外にも複数設置することで、県民だけでなく国民に対しても伊勢志摩でのサミットの開催が近づいていることをPRします。

また、県民会議会長の鈴木知事、地元首長、協賛、応援企業の代表者等による除幕式の開催を調整することで、報道を通じた情報発信につなげます。

(2) カウントダウンボードの制作への参加

子ども、若者、障がいのある方など多様な方がカウントダウンボードの制作に参加していただくことで、サミット開催に向けて県民が一体となって参画いただいているというメッセージを発信します。

(3) イベントでの伊勢志摩サミット開催のPR

関係閣僚会合や三重テラス等PR効果の高い県外でのイベントや三重県で開催される全国大会等において、ポストカード等の各種PRツールを用いて幅広く周知を行います。また、集客力及びPR効果の高いイベントには、県民会議として出展等を行い情報発信を行います。

(4) 各種PRツールの作成

手提袋、ポストカード、クリアファイル等様々な場面に応じて配布できる各種PRツールを作成します。

3 今後のスケジュール

(1) シンボルマーク決定まで（8月～10月中旬）

第1次公式ポスターを活用したPRツールを作成します。（ポストカード、手提袋等）

(2) シンボルマーク決定後（10月中旬～）

シンボルマークを活用したPRツールを作成します。

協賛、応援事業を活用したカウントダウンボードを設置します。（200日前/11月8日を目途）

プレス等を活用した情報発信の展開について

1 目的

国内外のメディアに三重県を取材する機会を提供し、三重県ならではの体験や三重県の多彩なコンテンツを体感いただき、三重県の魅力を国内外へ発信することで、三重県の認知度を高め、ブランドイメージの確立・浸透をはかるとともに、開催後のインバウンドをはじめとする観光客の増加や県産品の販売増につなげます。

2 取組方針

- (1) 県・市町の関係部局とも連携を図りながら、メディアの発信先や特性に応じてテーマ設定や訪問先などのコンテンツ選定を行い、三重の誇る食、文化・伝統、自然や産業技術等を効果的に発信できるように努めます。
- (2) 県内各地域の情報が国内外に広く発信できるよう、取材エリアの選定を工夫します。
- (3) 県民会議主催の事業だけでなく、外務省等の国関係機関や県の各部局、市町、各種団体等の行うメディア関連の事業に対し、コースやテーマ等の提案・調整を行い、これらの事業トータルで効果的なメディア発信を行う構成とします。
- (4) コースやテーマ設定の際には、多様な暮らしを営む県民（生産者、経営者、子ども、女性、高齢者等）が、できるだけ取材されるよう努めます。

3 事業の概要

単にプレスツアー等を実施するだけでなく、プレスツアーへの参加を呼び掛けるイベントを開催することでプレス等との関係を構築し、より効果的な情報発信に努めます。

(1) プレスツアー、ファムトリップ等

各種プレスツアーやファムトリップ等については、地域性、テーマ性も考慮しつつ県民会議からコース等の積極的な提案を行います。

①県民会議主催プレスツアー（1泊2日）（3回程度）

②外務省等主催のプレスツアー（8回程度）

③海外メディアやエージェントのファムトリップ（複数回） など

(2) プレスツアーの参加に向けた各種行事

プレスツアーを開催するに当たり、プレス等との関係性を構築しツアーへの参加を呼び掛けるイベントを開催します。

①海外プレス向けブリーフィング…外国報道機関を対象としたブリーフィングを開催します。

②メディア交流会等…首都圏等でメディア等を対象にした各種情報発信の機会を活用します。

4 今後の進め方

県民会議主催のプレスツアーについては、第1回を12月上旬に実施する方向で調整します。

外務省等主催のプレスツアーについては、各部局や市町、関係団体と調整し、県内の行程について県民会議から積極的に提案を行います。

海外プレス向けブリーフィングについては、早期の開催に向け関係機関と調整を行います。

平成 27 年 9 月 16 日
事業推進課

三重県情報館（仮称）について

1 目的

国際メディアセンター内に、国内外から来県する多数の報道関係者等を通じて、三重県の魅力を国内外に発信するための拠点として三重県情報館（仮称）を設置します。

■ねらい

国内外での知名度向上により、三重県へのインバウンド及び国内観光者の増加、県産品の輸出増加及び国内での需要拡大など三重の活性化につなげます。

2 事業の概要

■期間：国際メディアセンターと同期間

■内容

(1)取組方針

基本コンセプトに基づき、日本の中の「地方」の代表として三重県の魅力を課題も含め発信します。また、国との連携を密にし、国の広報スペースにおいて、オールジャパンとしての取組み（東京オリンピック・パラリンピック、東日本大震災からの復興、関係閣僚会議など）や東海及び中部地方の発信を要望するとともに、三重県情報館（仮称）の中でも連動するなど、国の広報内容と調和のとれた展開をめざします。

①五感を刺激するために可能な限り、実際に触れたりできる「実物」を展示するとともに、実演・体験なども含めた PR を行います。（例：試食、忍者ショー等）

②情報館が、国際メディアセンターを訪れる全ての報道関係者が通る動線上に配置されるよう国に強く要望していきます。

③優雅できめ細かなおもてなしを行います。（例：松阪木綿の着物を着た通訳者による説明、四日市萬古焼急須での伊勢茶ふるまい、三重県らしい記念品プレゼント、伊勢のバラによる装飾等など）

④可能な限り 29 市町の情報を発信します。

(2)ブース構成イメージ（テーマで構成した場合の例）

①三重の『食』…海・山・平野の豊かな三重の食材・加工品（菓子もち等）・飲料等の展示・試食。（食材の提供は素材を生かした調理を基本とする）

②三重の『技』…日本の製造業の縮図としての技術のショールームを設置。MRJ の尾翼や超小型モビリティなど本物の展示を中心に、三重ならではの水素エネルギーへの取組みや、実演も含めた伊勢型紙等の郷土の技術を紹介。

③三重の『姿』…三重独自の文化・歴史、変化に富んだ豊かな自然などを紹介。1300 年にわたる式年遷宮の歴史を持つ伊勢神宮や、自然との共生を願う海女漁の思想などのストーリー性のあるコンテンツを紹介。

3 今後の進め方（案）

発信コンテンツは、基本コンセプトが固まり次第、各市町及び県各部署へ相談をさせていただき、選定委員会等を経て決定する予定です。

平成 27 年 9 月 16 日

事業推進課

三重県情報誌及びプレス用ハンドブックの作成について

1 目的

伊勢志摩サミット開催に向けて、国内外報道関係者および G 7 各国代表団等に、三重県の情報等を提供することで、三重県への理解を深めていただくとともにサミット開催に対する報道活動をサポートする地域情報も提供し、記事等を通じた内外への情報発信を促進します。

2 取組方針

- (1) 人口や面積、主要産品などのデータなども活用し、三重県の情報を知りやすく掲載した三重県情報誌、プレス用ハンドブックを作成配布することで国内外報道関係者等が必要な情報を発信することをサポートします。
- (2) 国内外報道関係者等へ効果的に三重県の情報を発信するため、既存のパンフレットも活用したプレスキットを作成して配布します。

3 事業の概要

(1) 三重県情報誌の発行

三重県の観光、文化、食材など三重県の多彩な魅力の情報と三重県の沿革、自然、産業、G 7 各国と三重県との関係など基礎データ情報が一体となった情報誌を作成し、レセプションやプレスツアー等の機会を活用して国内外報道関係者等に配布することで、三重県への理解を深めていただくとともに、国内外のメディアに取材や記事化等のツールとして活用できるようにしていきます。

(2) プレス用サミットハンドブックの発行

県内マップ、交通案内、食事、観光、お土産情報など、サミット開催期と開催後に国内外報道関係者等の県内移動、滞在、取材活動、県内観光をスムーズに行える情報を掲載し、記者等の取材をサポートします。

4 今後の進め方について

- ・関係部局等と連携し、既存のパンフレット等とあわせて効果的な掲載内容の選定を行っていきます。
- ・プレスツアー、ブリーフィング等で情報誌を配布できるよう準備を進めます。
- ・メディアの種類や国にあわせて、ターゲットに最も効果的なプレスキットとなるように準備していきます。
- ・伊勢志摩サミット県民会議のホームページに情報誌の内容を掲載することで、県外や海外に向けて発信します。

平成27年9月16日

事業推進課

多様な主体における国際理解・国際交流事業について

1 目的

サミットの開催を契機として、サミット参加国について学ぶ機会を設け、学校や市町、民間企業・団体等、多様な主体が、国際理解・国際交流を深める機会を提供する。また、特に次代を担う子どもたちが多文化を理解し、国際的な視野や感覚を身に付けるきっかけとなることをめざす。

2 事業の概要

学校や市町、民間企業・団体等の多様な主体が、県及び市町教育委員会や関係団体等と連携し、国際理解・国際交流につながるよう、次の取組等に対する支援を行う。

(1) 児童・生徒を対象とした取組

- ・ 県内各地の学校における参加各国やサミットのテーマについて学ぶ授業や交流事業等の実施
- ・ 学校給食における参加国の料理の提供 等

(2) 広く県民を対象とした取組

- ・ 生涯学習講座等における各国料理教室や異文化交流教室の開催
- ・ 各種イベント等での国際理解・国際交流事業の展開
- ・ 様々なパネル展示等による参加各国紹介 等

3 取組方針

- (1) 学校や市町、民間企業・団体等、多様な主体による取組が実施されるよう働きかけを行い、一人でも多くの県民がサミット参加国や多文化に関心を持てるよう、全県的な取組とする。
- (2) 取組情報等を報道に資料提供することで、パブリシティによる情報発信を行うとともに、取組への士気を高める。
- (3) 当事業を通じた取組を生かし、サミット終了後も継続する国際理解・国際交流事業の展開につなげていく。

4 今後の進め方

学校や市町、民間企業・団体等と連携し、上記「2. 事業概要」に挙げたような取組に対する支援（国際理解・国際交流プログラムの開発に基づくノウハウの提供や、県内人材の活用による講師の紹介・派遣等）を行う。

平成 27 年 9 月 16 日
開 催 支 援 課

インフォメーション機能の整備について

1 目的

伊勢志摩サミットの開催に際して、移動・滞在・観光等のインフォメーション機能を充実させ、来県者（主に報道関係者）への支援を行うなど、世界各国からの来県者をおもてなしの心でご案内できるようインフォメーションセンターを設置する。

2 取組内容

(1) インフォメーションセンター設置場所と活動内容

① 主要拠点（運営主体：三重県民会議）

- ・国際メディアセンター
- ・滞在期間中の活動支援全般と三重県の情報発信

② 県内主要ターミナル（運営主体：各所在市町主体）

- ・JR 津駅、なぎさまち旅客ターミナル、JR 松阪駅、JR 伊勢市駅
近鉄鳥羽駅、近鉄鵜方駅等
- ・宿泊先・国際メディアセンター等への移動支援と現地観光案内

③ 三重県外（運営主体：愛知県・名古屋市・中部経済連合会等と調整）

- ・中部国際空港、名古屋駅等
- ・現地への移動支援と三重県及び中部地域の情報発信

(2) 運営スタッフ（上記①②③は次の通り）

- ①県民会議スタッフ、外国語案内ボランティアと一般ボランティア
- ②運営主体のスタッフと県民会議派遣の外国語案内ボランティア
- ③運営主体のスタッフと県民会議スタッフ

※センターを設置しない市町の観光案内所スタッフ等も実践研修の場として参加可能とする。

3 取組方針

- (1) 三重県及びサミット関連の情報発信資料は各拠点で共通に使用できるものを県民会議で用意する。各拠点ごとの独自の資料、サービス内容は各運営主体が企画・手配する。
- (2) 三重県内の拠点で必要となる外国語案内ボランティアは、県民会議が一括して募集し派遣する。
- (3) インフォメーションセンタースタッフとして全拠点に共通して必要なサミット関連の知識や接遇方法等については、県民会議以外のスタッフについても合同で研修を行う。また主に外国人を対象とした接遇用ハンドブックを制作し広く活用する。

4 今後のスケジュール

平成 27 年 9 月 ～ 10 月	県内設置に係る調整
平成 27 年 9 月 ～ 12 月	県外設置に係る調整
平成 28 年 5 月 20 日（金）～ 28 日（土）	インフォメーション設置

平成 27 年 9 月 16 日
開 催 支 援 課

外国語案内ボランティアについて

1 目的

伊勢志摩サミットの開催に際して、県内主要駅等に設置するインフォメーションセンターにおいて、特に外国人報道関係者への支援のため、外国語案内ボランティア活動を実施することで、サミットの円滑な運営に寄与する。

2 取組内容

(1) 募集

外国語（主に英語）による案内業務が可能なボランティアを公募する。

(2) 研修

ボランティア参加者に対し、語学研修及び接遇研修等を実施する。

(3) 活動

インフォメーションセンターにおいて、移動・滞在・観光等の情報提供を通じて外国人報道関係者を支援する。

3 取組方針

(1) 募集、研修及びコーディネート業務を企画提案コンペにより外部委託する。

(2) 募集に先立ち、県内の語学ボランティア団体等を対象に、県民会議主催の関係者説明会を実施する。

(3) 募集対象は、一般、大学生、外国人留学生及び高校生とし、募集人数は 100 人程度とする。

(4) ボランティア参加者の能力に応じた語学研修及び接遇研修等を実施し、能力の向上を図る。また、ボランティア参加者の応募状況に応じ、複数会場での研修を検討する。

(5) 活動場所は、設置されるインフォメーションセンターのうち県内のものとし、活動期間は、サミット開催日（5 月 26 日、27 日）の 1 週間前から会議終了日の翌日までとする。

(6) ボランティア参加者が、県内で開催される MICE、外国人観光客のおもてなし及び各種ボランティアにおいて引き続き活動できる体制づくりを行う。

(7) インフォメーションセンター以外での外国語ボランティア活動についても検討する。

4 今後のスケジュール

平成 27 年 10 月～12 月	ボランティア募集
平成 28 年 2 月～ 3 月	ボランティア研修（語学、接遇）
4 月～ 5 月	ボランティア結団式
5 月 20 日～28 日	ボランティア活動
6 月	ボランティア解散式

